

番号	氏名	抱負
261	山本 鋭二郎	私は近畿部会の学術委員をさせていただいていますが、学会の方向性を理解しながら診療放射線技師がチーム医療の中で信頼されるためにJSRTに貢献して参りたいと思います。よろしくお願ひします。
262	山本 めぐみ	JSRTにおける医用画像に関する研究分野のさらなる発展に貢献するとともに、臨床現場の経験、大学教員および研究者の立場から、学会のさらなる発展に貢献したいと考えています。また、JSRTの将来構想委員会の答申や、内閣閣議決定を鑑み、女性としての立場から学会の学術活動・指導的活動へ積極的に参加したいと思う所存です。
263	山本 泰司	近年、診療放射線技師の学術団体としての日本放射線技術学会の向かうべき方向性が徐々に明確になりつつあると考えています。その一つが、総会学術大会での英語発表であり、英語スライドの推奨です。この取り組みはやがて多くの若手放射線技師が海外発表に向かう大きな足がかりになるに違いないと推測します。今後は、修士、博士を取得する放射線技師を増やし地位の向上と職域拡大を目指すべきと考えています。今回、代議員となりその一助を担わせていただければ幸甚です。
264	横岡 由姫	
265	横町 和志	私は、日本放射線技術学会の国際化に賛成であります。総会をはじめとする主催学術大会での座長の選定に疑問を持っております。英語論文執筆や国際学会での発表など海外において活躍している今旬の人ではなく、元々有名だった人が座長をしております。学会とは現在の新技術や新しいアイデアなどを検討し発表する場であり、私が代議員になったときには、こういった旬の人が活躍できる学会を作りたいと思います。
266	芳澤 康徳	
267	米沢 鉄平	私は過去に短期海外研修に参加させていただいた経験があります。そこで感じたことは、「日本の診療放射線技師はもっと世界へ自分達をアピールするべきだ」という事でした。ただ、学会の国際化が単なる「欧米への迎合」ではなく、「日本の放射線技術学を伝える手段」であると若い会員に伝えるべきだと考えます。私自身がまだまだ若輩者ですが、学会の国際化というテーマに沿った活動ができるように努力したいと思う所存です。
268	渡邊 浩	本学会関係法令等検討小委員長を務めて10年目になります。この小委員会はパブリックコメントに専門分野の学会としての責務を果たすべく本学会の意見を述べてきました。また、平成24年4月1日施行の障害防止法改正では、医療に重大な障害を及ぼさない合理的な管理基準を取り入れるため、医療全体の中心となって活動しました。このような経験を通して本学会が公益法人としての社会的責務を果たすために貢献したいと考えております。
269	渡辺 亮	この度代議員に初めて立候補させて頂きました。昨今の医療情勢においてわれわれ放射線技師の役割は多角化し、より高い技術と品質が求められています。よって、医療・社会に貢献するためには放射線技術学領域の更なる発展と放射線技師の更なる成長が必要だと感じています。私自身がまだまだ未熟な身ではございますが、自分達の将来のために何が作られ何が実行されるか勉強させて頂きたいと思っております。宜しくお願ひ致します。